

H O K K A I D O I H O

# 北海道医報

12

月号

2023.12.1  
第1263号



北海道 美の遺産 一原 有徳 『Mt. Rishiri』 北海道立帯広美術館 所蔵

# CONTENTS

北海道医報  
令和5年12月1日 第1263号

指標／在宅医療における『積極的役割を担う医療機関』と『必要な連携を担う拠点』について……………藤原 秀俊……………3

新郡市医師会長の紹介……………7

医の倫理綱領……………7

学会報告／第30回日本航空医療学会総会報告……………浅井 康文、目黒 順一……………10

生涯教育シリーズXXIV／近年問題になっている新興・再興感染症・One Healthとしての感染症

近年問題となっている人獣共通感染症……………鈴木 定彦……………12

税務相談室／不動産所得……………中村 孝一……………15

医師のための法律相談コーナー／近時の医療判例（40）……………矢吹 徹雄、高橋 和征……………16

若手医師コーナー／Spirits 若手医師リレーエッセイ……………真島 慧太……………19

若手医師コーナー／アクションズ 若手医師活動報告……………齊藤 良玄……………20

会員のひろば……………長島 仁、清水 聡子、戸田 博豊、代田 剛、岡本 拓也、  
下田 和夫、深町 知博、山内 修、平田 忍、水関 清、  
東山 佳澄、松本 巧、日高 康弘、石森 直樹……………22

ポラリスを仰ぐ北の大地から……………松本 三樹、小山内裕昭……………32

大通公園を望む窓辺から……………鈴木 伸和、小西 宏明……………33

日本医師会生涯教育講座開催情報……………34

中央<sup>34</sup> 道南<sup>34</sup> 後志<sup>35</sup> 日胆<sup>35</sup> 道北<sup>35</sup> 北見<sup>35</sup> 道東<sup>35</sup>

その他（学会・医会・研究会等）<sup>36</sup>

日医認定産業医制度研修会開催一覧……………37

道医の動き……………38

訃報……………39

新規指定医療機関……………39

会議室／第15・16回常任理事会、第5回理事会……………40

売貸医院・医師招聘情報……………46

道医師国保の頁……………50

季節風／クマの出没と現代社会の問題点……………橋本 洋一……………56

お知らせ

令和5年秋の叙勲・褒章受章者（北海道医師会員）<sup>8</sup>／令和5年度（2023年度）かかりつけ医認知症対応力向上研修<sup>9</sup>／北海道医報ファイル<sup>11</sup>／みんなで乗れば、未来が変わる。考えよう。行動しよう。公共交通の未来。<sup>15</sup>／日本医師会作成『心肺蘇生法C A B + Dカード』<sup>18</sup>／「医師資格証」を持ちましょう<sup>21</sup>／北海道内科医会ならびに日本臨床内科医会入会のご案内<sup>36</sup>／北海道医報「会員のひろば」投稿募集<sup>37</sup>／会員優待サービスのご案内<sup>45</sup>／北海道医師会育児サポート事業のご案内 病児・病後児の預り時に、ぜひご利用ください！<sup>45</sup>／医師招聘に掲載をご検討中の医療機関の皆様へ<sup>49</sup>／アクションズ若手医師活動報告 投稿大募集!!<sup>49</sup>／北海道医師会医師キャリアサポート相談窓口<sup>54</sup>／グループ保険のご案内<sup>55</sup>

北海道医師会会員数 8,137名 (+8) うち日本医師会会員数 5,733名 (+2)

|    |             |    |             |    |           |
|----|-------------|----|-------------|----|-----------|
| A  | 2,333名 (+1) | B2 | 4,655名 (+4) | C2 | 118名 (+2) |
| B1 | 612名 (-3)   | C1 | 89名 (±0)    | C3 | 330名 (+4) |

令和5年10月31日現在 ( ) 内前月比

## 作品紹介

いちばら ありのり  
一原 有徳 Mt. Rishiri

1910（明治43）年～2010（平成22）年  
徳島県那賀郡平島村（現・阿南市）生まれ。  
制作年不詳。金属版、紙（19.8×27.0cm）。

3歳の時に北海道に移住。1923年家族と小樽に移り、生涯の活動拠点となった。1954年第9回全道展初入選（1961年会員）。1959年第27回日本版画協会初入選。1975年第8回北海道秀作美術展優秀賞受賞。1979年第2回北海道現代美術展優秀賞受賞。1990年北海道文化賞受賞。2010年100歳で逝去。2011年市立小樽美術館3階に一原有徳記念ホール開設。一原

## 北海道美の遺産

写真・資料提供：北海道立帯広美術館  
（帯広市緑ヶ丘2番地 0155-22-6963）

がよく用いたモノタイプは、版の表面にインクや油絵具などで直接描画しプレスする版画で、1点しか印刷できないのが特徴。モノタイプや腐蝕金属版を使った作品により、一原は自由な発想で作品の幅を広げた。国内外で高い評価を得ている抽象版画家だが、登山家・俳人としても知られる。

利尻山は利尻島にある標高1,721mの独立峰。美しい山容から「利尻富士」とも呼ばれ日本百名山に選ばれた。静寂な空気に包まれた大自然が織り成す荘厳な絶景を、登山家ならではの視点から描いている。また、金属板の切り抜きという独自の手法で、険しい岩稜の描写に迫真性を与えている。